



1930年の開設以来90年以上にわたり道南地域の基幹病院としての役割を担っている。総合周産期母子医療センター、北海道小児地域医療センター、北海道がん診療連携指定病院、小児がん連携病院(類型3)、臨床研修指定病院、日本医療機能評価機構認定病院

### 急性期・周産期医療の役割を担う チーム医療で安心の医療を提供

函館中央病院は、「かけがえない命と健康」を第一に尊重する「心ある医療」を基本理念とし、最先端の急性期医療、難度医療の実践に努めている。道南唯一の総合周産期母子医療センターとして24時間体制で母体搬送ならびに低出生体重児を受け入れており、道南圏のハイリスクの妊娠や出産、低出生体重児のケアを一手に担っている。また、道南圏における小児医療の中核的な医療機関と認められ、北海道小児地域医療センターに指定されている。さらに、「断らない医療」の実践、地域医療連携強化(総合医療支援センター設置)、市内2次救急輪番病院としての救急医療体制の充実など、地域での役割やニーズに応えるべくさまざまな体制整備に力を入れているほか、高度医療機器の新規導入や更新も積極的に行っている。

診療科は26科にのぼり、特に整形外科は脊椎疾患や上肢、下肢の外傷、変性疾患、小児整形外科を含めた各分野の経験豊富な指導医を中心に、最良かつ最先端の治療が実践できるような国内最大級の診療体制を整えている。

北海道がん診療連携指定病院でもあり、抗がん剤治療など、がん治療を専門的に行う腫瘍内科医が在籍。がん相談支援センターを設置し、がん患者の診療体制・サポート体制の充実を図っている。

2021年4月から糖尿病・内分泌内科を開設。糖尿病、内分泌疾患、肥満症に対して専門医2人体制で診断と治療にあたっている。「当病院ができることが何なのか、当病院がやるべきことが何なのかを考え、地域住民の皆さまのみならず、地域外の皆さまからも選んでいただける病院を目指し、函館中央病院なら間違いなく、函館中央病院を受診してよかった」と言っていただけのように精進してまいります(本橋雅壽病院長)



- ① 高度医療機器の導入や更新も積極的に行っている(写真は2020年4月に更新した血管撮影装置)
- ② 院内にはローソンやドトールコーヒーがありアメニティも充実
- ③ 2021年4月に糖尿病・内分泌内科を開設。専門医2人体制で診療にあたる(写真左から高橋科長、小野医長)

内科・糖尿病/内分泌内科・消化器内科・腫瘍内科・神経内科・循環器内科・小児科・外科・整形外科・消化器外科・乳腺外科・肛門外科・形成外科・脳神経外科・心臓血管外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・精神科・放射線科・麻酔科・リハビリテーション科・歯科口腔外科・病理診断科

社会福祉法人 函館厚生院

**函館中央病院**

☎0138-52-1231

函館市本町33-2

<http://www.chubyou.com/>

診療時間/  
月～金 9:00～11:30 14:00～16:00  
土曜 9:00～11:30  
※各科・曜日により異なるため要事前確認  
休診日/日曜・祝日・年末年始  
最寄りアクセス/  
市電中央病院停留場から徒歩1分



病院長  
本橋 雅壽氏

1983年北海道大学医学部卒業。日本心臓血管外科学会国際会員。心臓血管外科専門医・修練指導医。日本胸部外科学会評議員。日本外科学会専門医・指導医。医学博士